

エコアクション21

環境活動レポート

(2018年10月1日～2019年9月30日)

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境方針	P.3
4. 組織図	P.4
5. 環境目標	P.5-6
6. 環境活動計画、環境目標の実績及び環境活動計画の 取組結果とその評価並びに次年度の取組内容	P.6-8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.8
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.8

2020年4月2日発行

三信工業株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

三信工業株式会社
代表取締役 桐山 好史

(2) 所在地

認証・登録範囲 本社 東京都中央区銀座7-17-15(オーク銀座木挽町ビル)
大阪支店 大阪府大阪市北区芝田1-12-7 大栄ビル新館4F
横浜工場 神奈川県横浜市金沢区福浦1-8-2
千葉工場 千葉県千葉市緑区おゆみ野1-11-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 横浜工場 工場長 奥 貴代隆
担当者 管理部 業務課 大野 翼

連絡先 電話 045-784-7875
FAX 045-785-1321
e-mail t-ohno@sanshin-ind. co. jp

(4) 事業活動の内容

エンジンガスケット用基材の製造
金属テープ - フィルムラミネート品の製造・販売
金属製品の防食・絶縁加工

(5) 事業の規模

売上高:22.3億円(2019年度)

	全社	本社(大阪含む)	横浜工場	千葉工場
従業員数(人)	74	20	44	10
延床面積(m ²)	8918	200	5997	2721

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織(所在地は1. (2)に記載)

本社、大阪支店、横浜工場、千葉工場

(2) 認証・登録対象活動

エンジンガスケット用基材の製造
金属テープ - フィルムラミネート品の製造・販売
金属製品の防食・絶縁加工

3. 環境方針

環境方針

3

三信工業株式会社は、社会に貢献できる企業を目指し、
当社の事業活動において地域性及び環境に配慮した
環境保全に対する自主的な取組を展開します。

活動指針

1. 事業活動による環境への影響を把握し、技術的・経済的に可能な環境目標を定め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 環境に関連する法規・条例・協定及び当社が同意する要求事項を遵守し、環境の保全、地域社会との調和に努めます。
3. 当社の事業活動に於いて環境負荷の低減及び環境改善を図るため、以下の項目に重点を置き環境保全活動を推進します。
 - (1) 省エネルギーの推進
 - (2) 廃棄物の削減とリサイクルの推進
 - (3) 化学物質の削減
 - (4) 環境に配慮した製品サービスの向上
4. 環境保全活動を推進するため、環境活動プログラムに積極的に参加します。
5. 環境方針は全従業員に周知し、環境保全に対する意識向上を図ります。又、環境方針が誰でも入手できるよう一般に公開します。

2010年 10月 1日 制定

2019年 3月 7日 改定

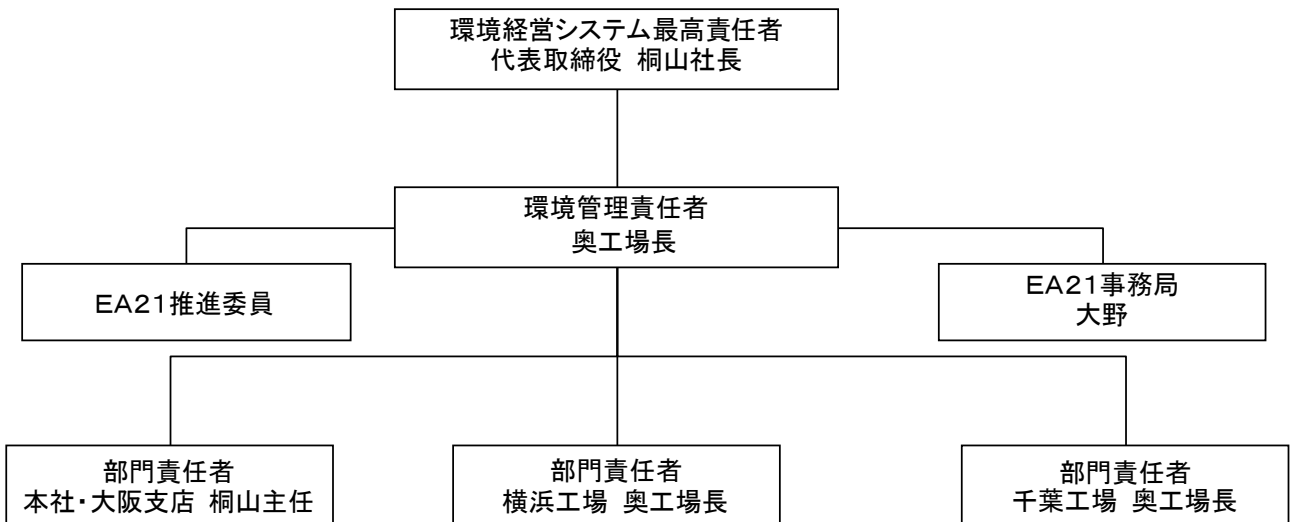
三信工業 株式会社

代表取締役

桐山 好史

4. 組織図

実施体制及び責任・権限表



	役割・責任・権限
環境経営システム 最高責任者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善(環境管理推進委員会の主宰) 2. 環境経営システム最高責任者への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21推進委員会の責任者として運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の運営 2. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 3. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 4. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 5. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
EA21推進委員	1. EA21推進委員会で実施状況の報告
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施と報告 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 4. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 5. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 6. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。

5. 環境目標

(1) 全社

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2018年度	2019年度	2021年度
1. CO ₂ 排出量の削減	t-CO ₂ /年	1141	▲ 0.5% 1135	▲ 2.5% 1112

電力CO₂排出係数は本社:0.462、横浜:0.523、千葉:0.462及び0.535、大阪:0.418を適用

(2) 各事業所

1) 本社

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2018年度	2019年度	2021年度
1. 電気使用量の削減	MWh	25.5	▲ 0.5% 25.4	▲ 2.5% 24.9
2. 廃棄物排出量の削減 (OA用紙の削減)	kg	255	▲ 0.5% 254	▲ 2.5% 249
3. 水資源投入量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		
5. 製品・サービスの向上	件以下	5	7 (社外)	6 (社外)

2) 大阪支店

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2018年度	2019年度	2021年度
1. 電気使用量の削減	MWh	4.25	▲ 0.5% 4.22	▲ 2.5% 4.14
2. 廃棄物排出量の削減 (OA用紙の削減)	kg	49	▲ 0.5% 48	▲ 2.5% 47
3. 水資源投入量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		
5. 製品・サービスの向上	件以下	0	4 (社外)	3 (社外)

3) 横浜工場

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2018年度	2019年度	2021年度
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	1883	▲ 0.5% 1874	▲ 2.5% 1836
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	139	▲ 0.5% 138	▲ 2.5% 135
2. 廃棄物排出量の削減	t /百万円	46.1	▲ 0.5% 45.8	▲ 2.5% 44.9
3. 水資源投入量の削減	m ³ /百万円	14.6	▲ 0.5% 14.5	▲ 2.5% 14.2
4. 化学物質使用量の削減	t /百万円	27.7	▲ 0.5% 27.6	▲ 2.5% 27.0
5. 製品・サービスの向上 (不良件数の低減)	件以下	18 (社外)	18 (社外)	16 (社外)

4) 千葉工場

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	中期目標
		2018年度	2019年度	2021年度
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	409	▲ 0.5% 407	▲ 2.5% 399
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	0.9	▲ 0.5% 0.9	▲ 2.5% 0.9
2. 廃棄物排出量の削減	t /百万円	8.7	▲ 0.5% 8.7	▲ 2.5% 8.5
3. 水資源投入量の削減	-	適正な使用・管理を継続する		
4. 化学物質使用量の削減	-	適正な使用・管理を継続する		
5. 製品・サービスの向上 (不良件数の低減)	件以下	2 (社外)	2 (社外)	2 (社外)

5. 環境活動計画、環境目標の実績及び環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

(1) 全社

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価/次年度の取組内容
1. CO ₂ 排出量の削減	t-CO ₂ /年	1135	1069	○	次年度も更に生産効率向上に重きを置き、また、それに加え「ムダの排除」を意識し目標達成に努めます。

(2) 各事業所 (※電力CO2排出係数は本社/横浜/千葉:0.515、大阪:0.513を適用)

1) 本社

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価/次年度の取組内容
1. 電気使用量の削減	MWh	25.4	24.2	○	節電等の徹底を行い、年度目標を達成した。来期もクールビズ、ウォームビズ運動の推進による使用量削減に努める。
2. 廃棄物排出量の削減 ・適切な分別を実施する	kg	254	220	○	引き続き適切な分別を行うようにする。
3. 水使用量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		-	引き続き節水を啓蒙するステッカーを掲示することで節水に努めます。
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		-	
5. 製品・サービスの向上	件以下	7 (社外)	7 (社外)	○	目標は達成したが、協力会社に対し品質指導を継続し軽減を図る。また、仕様認識のアンマッチが要因になるケースも多く影響度が大きいitemから優先順位をつけレビューを継続していく。

2) 大阪支店

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価／次年度の取組内容
1. 電気使用量の削減	MWh	4.22	4.29	×	目標は達成できなかった。 更なる削減要素が少なく来期も今期同水準維持を目標とする。
2. 廃棄物排出量の削減 ・コピー・プリントアウト の削減	kg	48	46	○	通期、目標達成。来期も引き続き意識付けを継続する。
3. 水使用量の削減	-	共益費に含まれ計測不能		-	引き続き節水を啓蒙するステッカーの掲示をすることで節水に努めます。
4. 化学物質使用量の削減	-	使用実績なし		-	
5. 製品・サービスの向上	件以下	4 (社外)	0 (社外)	○	通期に渡りクレームは無かった。 今後も社外クレームを出さないよう心掛けていきます。

3) 横浜工場

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価／次年度の取組内容
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	1874	1846	○	目標は達成した。また目標の見直しで単月の目標値と実績の乖離は小さくなった。
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	138	170	×	10月にGHP高効率タイプに更新を実施したが改善効果が見られなかった。
2. 廃棄物排出量の削減 ・廃棄物分別の徹底 ・リサイクルの推進	kg /百万円	45.8	60.5	×	生産に寄与しない機械設備、植木剪定等の廃棄物などが6t以上発生したため大幅な未達となってしまった。
3. 水使用量の削減 ・洗浄水の定量化 ・配管水漏れチェック	m ³ /百万円	14.5	11.8	○	年間を通して良好な結果となりました。 今後も継続していきたいと思います。
4. 化学物質使用量の削減 ・化学物質の適正管理	t /百万円	27.6	26.9	○	目標は達成したが使用量は自社内でコントロールしづらい状況であるため活動の見直しを図りたいと思います。
5. 製品・サービスの向上	件以下	18 (社外)	21 (社外)	×	間接部門の不具合が多く発生してしまい目標未達となってしまった。緊急会議を開催し、「思い込み等」に注意することを対策とした。

4) 千葉工場

環境活動計画	単位	年度目標	実績	達成区分	評価／次年度の取組内容
1-1. 電気使用量の削減	kWh /百万円	407	385	○	年間を通して概ね達成できました。
1-2. ガス使用量の削減	m ³ /百万円	0.9	0.9	○	目標は達成したが、ひと月でも稼働すると目標ギリギリになってしまうため来期も今期同水準維持を目標とする。
2. 廃棄物排出量の削減 ・廃棄物分別の徹底 ・リサイクルの推進	kg /百万円	8.7	16.0	×	今期も不要資産の廃棄により目標未達となってしまった。
3. 水使用量の削減 ・洗浄水の定量化 ・配管水漏れチェック	-	使用量が少ない為、現状維持とし 目標値は設定していない			数値に変動はなく、これまで同様、節水意識継続による維持管理をします。
4. 化学物質使用量の削減 ・化学物質の適正管理	-	使用量が少ない為、現状維持とし 目標値は設定していない			これまで同様、材料ロス低減の意識継続による維持管理をします。
5. 製品・サービスの向上	件以下	2 (社外)	2 (社外)	○	今後も達成できるよう努めます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次の通り

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃油等)の管理
消防法	危険物倉庫及び危険物の管理
PRTR法	化学物質量の把握と報告
下水道法	排水
水質汚濁防止法	排水
フロン排出抑制法	全ての第一種特定製品(業務用の冷凍空調機器)の簡易点検及び定期点検
横浜市生活環境の保全等に関する条例	横浜工場
千葉県環境保全条例	千葉工場

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

全社共通入力ファイルの統一化による効率化、及び全社員に対しての環境活動の参加意識の高揚を次年度も引き続き要請する。異常気象や気候変動が世界的な問題として挙がっており、企業の環境マネジメントシステムの重要度は高くなっている。今後も目標達成に向けて頑張っていただきたい。特に、来期は廃棄物の削減に重点を置き、「買い方」「作り方」「使い方」の改善を検討項目にした上での取り組みを要請する。